

北名古屋市民協働推進事業補助金採択事業自己評価シート

事業名 およこボードゲームひろば

団体名 北名古屋ボードゲーム交流会「るどふい〜る」

項 目	着目点	自己評価	自己評価コメント
公益性 公共性	・事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業でしたか	◎	ローカルテレビや地域情報誌で取り上げてもらう機会も増え、桜祭りなどのイベントでの体験活動も集客に繋がった。
	・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	◎	参加してくれた多くの親子にボードゲームを楽しんでもらい、一緒に遊ぶ手段が増えたと喜んでもらえた。
	・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか	○	参加者同士でルールを教え合って遊んでくれたり、常連の参加者が友人親子を誘って来てくれた。スタッフ側のボランティアの募集は奮わなかった。
実現性 計画性	・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	◎	月1度の開催は参加者からは丁度いいと評価。予算は問題ない。
	・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	△	スタッフの人数が少なく、一部の会員への負担が大きかった。ボランティアを募集したが奮わず。
先駆性 協働性	・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか	○	当事業を実績として。他事業への足掛かりにできた。2年間継続して開催できたのが大きい。
	・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか	△	当事業に関しては他団体との協働は行っていない。当事業をきっかけに他団体との協働を行うことはあった。
	・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか	○	当団体の専門性による運営と、行政補助による市民への安心感で良いシナジーを生んだ。
継続性 自立性	・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか	△	人材、持ち込まれるゲームなど会員の負担が大きい。会場費などは補助金で賄っているが、対象外の部分は持ち出しであり、実質赤字前提である。
	・自己資金の確保に努めていますか	×	会費は無料で行っており、補助金以外で団体としての収入はない。
事業効果 有効性	・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか	◎	のぼりや名札入れなどは昨年度の物をそのまま使い、会場費やチラシ代など最低限の費用で賄えた。
	・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか	◎	多くの親子にゲームボードを知って、活用してもらえた。

自己評価：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全然できなかった ーわからない 又は該当しない